

2020年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年2月27日

東

上場会社名 パーク24株式会社
コード番号 4666

上場取引所

URL <https://park24.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西川 光一

問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員経営企画本部長(氏名) 佐々木 賢一 (TEL) 03-3491-8924

四半期報告書提出予定日 2020年3月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年10月期第1四半期の連結業績(2019年11月1日~2020年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期第1四半期	80,786	2.2	5,118	△6.8	4,756	△10.5	2,567	△30.2
2019年10月期第1四半期	79,062	9.0	5,493	9.6	5,314	7.1	3,678	13.1

(注) 包括利益 2020年10月期第1四半期 5,479百万円(331.7%) 2019年10月期第1四半期 1,269百万円(△72.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年10月期第1四半期	16.63	15.69
2019年10月期第1四半期	23.79	22.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年10月期第1四半期	326,804	82,298	25.0
2019年10月期	293,097	90,791	30.8

(参考) 自己資本 2020年10月期第1四半期 81,840百万円 2019年10月期 90,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年10月期	-	0.00	-	70.00	70.00
2020年10月期	-	-	-	-	-
2020年10月期(予想)	-	0.00	-	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年10月期の連結業績予想(2019年11月1日~2020年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	159,700	3.6	10,100	1.3	9,600	0.8	6,100	8.4	39.47
通期	333,000	4.9	26,700	19.6	25,500	18.2	16,500	33.6	106.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年10月期1Q	155,016,369株	2019年10月期	154,974,269株
② 期末自己株式数	2020年10月期1Q	528,203株	2019年10月期	528,203株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年10月期1Q	154,451,679株	2019年10月期1Q	154,635,987株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2019年11月1日～2020年1月31日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境において高水準を維持しながらも個人消費については消費税増税の影響もあり足元ではやや弱含みの状態となっております。一方、国際経済は、米国の通商政策による貿易摩擦の動向や金融政策に対する懸念、英国の欧州連合(EU)離脱による混迷、豪州経済の低迷など先行きが不透明な状況が続いております。加えて、中国湖北省武漢市に端を発した新型コロナウイルスによる肺炎の影響で、中国国内の経済活動が抑制され、製造業のサプライチェーンに混乱や停滞が生じるなど、その影響が世界経済全体へ波及することも懸念されています。

このような環境のもと当社グループは、グループ理念「時代に応える、時代を先取る快適さを実現する」に向けて、2024年の中期的目標に国内駐車場100万台、モビリティ車両10万台、会員1,000万人を掲げ、人(会員)・クルマ(モビリティ)・街(目的地)・駐車場の4つのネットワークの拡大を推進し、これらをシームレスにつなぐ新たなサービスの創出に取り組んでおります。営業概況といたしましては、国内の駐車場及びカーシェアにおいて、規模の拡大や消費税増税対応により売上高は順調に伸長しました。また、販売費及び一般管理費につきましては、事業拡大に伴う固定費等の費用が増加しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は807億86百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益51億18百万円（同6.8%減）、経常利益47億56百万円（同10.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益25億67百万円（同30.2%減）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

駐車場事業国内

2019年10月1日の消費税増税への対応は、全国の駐車場において一律の料金変更を行うこととし、2019年10月1日から順次実施してまいりましたが、2020年1月末時点でほぼ全ての駐車場の料金変更が完了いたしました。さらに1月からは、一部の駐車場において、それぞれの駐車場が最大収益を得られるよう、稼働状況やエリアの状況を考慮した駐車料金の最適化を行っております。新規開発については、駐車場を保有する法人様への運営提案営業や地域密着型のきめ細かな営業活動により収益性の高い駐車場の開発を推進しています。この結果、国内におけるタイムズパーキングの運営件数は19,177件（前連結会計年度末比101.4%）、運営台数は612,776台（同101.4%）、月極駐車場及び管理受託駐車場を含めた総運営件数は20,613件（同101.4%）、総運営台数は765,099台（同101.2%）となっております。

上記より、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は446億42百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益は75億49百万円（同8.0%増）となりました。

駐車場事業海外

各国、各地域の営業人員の強化や駐車場開発・運営体制の整備等を行うと同時に、新規開発にも舵をきりはじめ、各国において開発が進捗しております。既存物件においては、稼働状況を鑑みながら駐車料金の変更を行うと同時に、駐車場管理の効率化等に継続して取り組むことで収益性の確保に努めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間末における海外事業の駐車場の総運営件数は2,714件（前連結会計年度末比103.2%）、総運営台数は690,017台（同103.6%）となり、日本を含む全世界における駐車場の総運営件数は23,327件（同101.6%）、総運営台数は1,455,116台（同102.4%）となっております。

上記より、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は164億66百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益は1億32百万円（前年同期1億3百万円の営業損失）となりました。

モビリティ事業

当第1四半期連結会計期間から、レンタカーサービスの事業主体とカーシェアリングサービスの事業主体を統合した新会社「タイムズモビリティ株式会社」においてモビリティ事業を運営しております。お客様により便利で使いやすいサービスを迅速かつ高品質に提供するため、レンタカーサービスとカーシェアリングサービスのメリットを融合した「タイムズカー」の育成にさらにドライブをかけてまいります。なお、カーシェアリングサービスに関しては、当社の子会社であるタイムズ 2 4 株式会社から同じく子会社であるタイムズモビリティ株式会社へ移管したことに伴い、駐車場事業国内とモビリティ事業において、新たにセグメント間の内部取引が発生しております。

レンタカーサービスについては、東京2020に向けて拡大するインバウンド需要に対応した外国語予約サイトのリニューアルや外国人のお客様向けに対面型の音声翻訳機の導入等のサービス強化を行いました。

カーシェアリングサービスについては、順調に車両数を増車するとともに法人会員様の利用の拡大に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間末におけるカーシェアリングサービスのステーション数は12,806ステーション（前連結会計年度末比101.3%）、配備台数は27,309台（同100.8%）、会員数は1,344,648人（同103.0%）となりました。

上記より、モビリティ事業全体の当第1四半期連結累計期間末の車両台数は前連結会計年度末比100.0%の57,738台（うち、カーシェアリングサービスの車両台数は27,309台）となり、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は209億7百万円（前年同期比2.1%減）となり、営業利益は9億13百万円（同34.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比337億7百万円増加して3,268億4百万円となりました。主な増減といたしましては、増加で使用権資産が306億6百万円、未収入金を含むその他流動資産が22億94百万円、減少で機械装置及び運搬具が29億26百万円となっております。

負債合計は、同422億1百万円増加し、2,445億6百万円となりました。主な増減といたしましては、増加でリース債務が339億52百万円、長・短期借入金91億34百万円となり、減少で未払法人税等が24億9百万円となっております。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加25億67百万円、為替換算調整勘定の増加27億66百万円、利益剰余金の配当による減少108億11百万円等により、同84億93百万円減少し822億98百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて5億83百万円増加し、252億48百万円となりました。

当四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、125億18百万円（前年同期比27億38百万円の増加）となりました。主な内訳といたしましては、減価償却費を加えた税金等調整前四半期純利益143億90百万円に対し、法人税等の支払額34億41百万円があったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用したキャッシュ・フローは、61億31百万円（前年同期比31億58百万円の減少）となりました。これは主として、タイムズ駐車場の開設や営業車両の取得に伴う有形固定資産の取得による支出54億60百万円、長期前払費用の取得による支出7億99百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、61億60百万円の資金の支出（前年同期比27億27百万円の支出の減少）となりました。これは、短期借入金の純増額76億11百万円があった一方、リース債務の返済32億6百万円と配当金の支払額108億20百万円があったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月期の連結業績予想につきましては、「2019年10月期 決算短信」（2019年12月16日付）で公表した数値に変更はありません。なお、新型コロナウイルスによる感染症の広がりが2020年10月期の当社グループ連結業績に与える影響は現時点では不明であります。2019年12月16日に公表しました連結業績予想を見直す必要が生じた場合、適時公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,881	25,476
受取手形及び売掛金	18,175	18,660
たな卸資産	1,590	1,812
その他	30,163	32,457
貸倒引当金	△198	△183
流動資産合計	74,611	78,223
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,783	34,150
機械装置及び運搬具（純額）	55,803	52,876
土地	25,888	26,066
リース資産（純額）	17,049	16,870
使用権資産（純額）	—	30,606
その他（純額）	10,089	10,514
有形固定資産合計	142,615	171,083
無形固定資産		
のれん	37,377	39,442
契約関連無形資産	13,739	14,697
その他	3,624	3,893
無形固定資産合計	54,741	58,033
投資その他の資産		
その他	21,129	19,463
投資その他の資産合計	21,129	19,463
固定資産合計	218,485	248,580
資産合計	293,097	326,804
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	819	731
短期借入金	18,078	26,770
リース債務	5,385	13,915
未払法人税等	4,395	1,985
賞与引当金	2,318	1,169
その他	40,224	43,232
流動負債合計	71,222	87,805
固定負債		
新株予約権付社債	35,000	35,000
長期借入金	70,698	71,141
リース債務	10,217	35,639
退職給付に係る負債	385	124
資産除去債務	8,779	8,869
繰延税金負債	2,393	2,414
その他	3,608	3,511
固定負債合計	131,082	156,701
負債合計	202,305	244,506

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,087	20,134
資本剰余金	15,674	15,838
利益剰余金	63,004	51,386
自己株式	△1,255	△1,255
株主資本合計	97,511	86,104
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	140	153
繰延ヘッジ損益	△143	△155
土地再評価差額金	△1,052	△1,052
為替換算調整勘定	△4,883	△2,117
退職給付に係る調整累計額	△1,163	△1,092
その他の包括利益累計額合計	△7,103	△4,263
新株予約権	163	145
非支配株主持分	220	312
純資産合計	90,791	82,298
負債純資産合計	293,097	326,804

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)
売上高	79,062	80,786
売上原価	60,512	61,629
売上総利益	18,549	19,156
販売費及び一般管理費	13,056	14,038
営業利益	5,493	5,118
営業外収益		
受取利息	2	5
受取配当金	2	2
持分法による投資利益	6	—
未利用チケット収入	47	48
為替差益	1	—
補助金収入	—	124
その他	52	66
営業外収益合計	114	248
営業外費用		
支払利息	179	435
持分法による投資損失	—	64
駐車場解約費	65	65
為替差損	—	1
その他	48	43
営業外費用合計	293	610
経常利益	5,314	4,756
特別利益		
固定資産売却益	—	3
特別利益合計	—	3
特別損失		
固定資産除却損	—	56
減損損失	—	24
特別損失合計	—	81
税金等調整前四半期純利益	5,314	4,678
法人税、住民税及び事業税	1,230	1,441
法人税等調整額	327	597
法人税等合計	1,558	2,038
四半期純利益	3,756	2,639
非支配株主に帰属する四半期純利益	78	71
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,678	2,567

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)
四半期純利益	3,756	2,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	13
繰延ヘッジ損益	△65	△12
為替換算調整勘定	△2,418	2,970
退職給付に係る調整額	50	71
持分法適用会社に対する持分相当額	△42	△204
その他の包括利益合計	△2,486	2,839
四半期包括利益	1,269	5,479
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,191	5,407
非支配株主に係る四半期包括利益	78	71

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,314	4,678
減価償却費	7,507	9,711
減損損失	—	24
のれん償却額	601	546
受取利息及び受取配当金	△5	△8
支払利息	179	435
固定資産売却損益 (△は益)	—	△3
固定資産除却損	—	56
売上債権の増減額 (△は増加)	193	△189
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,677	2,019
仕入債務の増減額 (△は減少)	274	△92
未収入金の増減額 (△は増加)	534	233
前払費用の増減額 (△は増加)	△594	272
未払金の増減額 (△は減少)	△523	△221
未払費用の増減額 (△は減少)	△7	△1,831
設備関係支払手形の増減額 (△は減少)	74	△279
その他	△2,766	1,020
小計	14,460	16,374
利息及び配当金の受取額	5	8
利息の支払額	△144	△423
法人税等の支払額	△4,540	△3,441
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,780	12,518
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,027	△5,460
有形固定資産の売却による収入	0	4
無形固定資産の取得による支出	△271	△367
長期前払費用の取得による支出	△742	△799
出資金の払込による支出	△169	—
その他	△79	490
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,290	△6,131
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,701	7,611
長期借入れによる収入	—	218
長期借入金の返済による支出	△1,259	△33
リース債務の返済による支出	△1,403	△3,206
株式の発行による収入	153	70
配当金の支払額	△10,823	△10,820
非支配株主への配当金の支払額	△256	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,888	△6,160
現金及び現金同等物に係る換算差額	△277	357
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,675	583
現金及び現金同等物の期首残高	29,785	24,664
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,110	25,248

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

IFRSを適用する一部の在外連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。当該会計基準の適用については、経過的な取扱いに従っており、累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結貸借対照表の有形固定資産の使用権資産が30,606百万円、流動負債のリース債務が8,571百万円、固定負債のリース債務が25,490百万円それぞれ増加しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1 四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	駐車場 事業国内	駐車場 事業海外 (注)1	モビリティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	40,326	17,404	21,331	79,062	—	79,062
セグメント間の内部売上高 又は振替高	58	—	26	85	△85	—
計	40,384	17,404	21,358	79,147	△85	79,062
セグメント利益又は損失(△)	6,991	△103	1,390	8,278	△2,785	5,493

(注) 1 セグメント利益の駐車場事業海外の△103百万円には、のれんの償却額△562百万円が含まれておりま
す。

2 セグメント利益の調整額△2,785百万円には、のれんの償却額△38百万円、全社費用△2,746百万円が含
まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であり
ます。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1 四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	駐車場 事業国内	駐車場 事業海外 (注)1	モビリティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	43,441	16,466	20,878	80,786	—	80,786
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,201	—	29	1,230	△1,230	—
計	44,642	16,466	20,907	82,017	△1,230	80,786
セグメント利益	7,549	132	913	8,594	△3,476	5,118

(注) 1 セグメント利益の駐車場事業海外の132百万円には、のれんの償却額△546百万円が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△3,476百万円には、のれんの償却額△0百万円、全社費用△3,475百万円が含
まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であり
ます。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 当第1 四半期連結会計期間において、当社の子会社であるタイムズ 2 4 株式会社が発行するカーシェア
リングサービスを同じく子会社であるタイムズモビリティ株式会社へ吸収分割の方法により移管いたし
ました。これに伴い、駐車場事業国内とモビリティ事業において、新たにセグメント間の内部取引が発
生しております。